

『地理情報標準認定資格制度』について

～2025年 技術者養成講習及び認定試験のご案内～

公益財団法人 日本測量調査技術協会

1. 『地理情報標準認定資格』とは
2. 資格取得の概要
3. 認定試験受験資格及び講習受講免除
4. 講習カリキュラム及び認定試験の構成
5. 認定資格の登録
6. 講習受講料・認定試験受験料、及び認定資格登録料
7. 認定資格の登録更新
8. 測量 CPD と設計 CPD
9. 詳細についての問い合わせ先
10. 参考図書・Web サイト

1. 『地理情報標準認定資格』とは

【目的】

この資格制度は、地理情報標準の知識・技能を有した、地理空間情報の整備、管理、運用等の専門技術者の資格認定及び登録を行い、もって地理情報標準の適用、普及等の適正な推進を図るとともに、地理空間情報の利活用の促進に寄与することを目的とします。（地理情報標準認定資格制度規程から）

【趣旨】

地理情報標準を広く活用して、地理空間情報に関する業務を適切に遂行でき、国際的にも通用する専門技術者を養成すると共に、地理情報標準の知識・技能が一定水準以上であることを認定する資格制度です。

平成 19（2007）年に地理空間情報活用推進基本法が成立し、測量法に基づく測量行為に地理情報標準の活用が推奨され、作業規程の準則においては、地理情報標準に準拠した製品仕様書の作成が義務付けられています。さらに、行政機関においては、これらデータを活用したソフトウェア開発も行われています。

地理情報標準は、地理空間情報の取得から管理、交換、応用までを網羅する知識の体系であり、地理空間情報高度活用社会を支える土台となります。さらに、国際標準に準拠したもので、これからの地球規模の地理空間情報の管理や利活用の推進にも不可欠な技術です。この技術のスキルレベルを各技術者が確認するとともに、地理空間情報に関わる計画機関、実施機関及びその関係者で共有し得る手段として、本制度を創設いたしました。

【行政機関（国土地理院）による認定】

本資格は、平成 26（2014）年 7 月 25 日付で国土交通省 国土地理院の請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格に登録されました。

| 業務種別 | 区分 | 測量技術者資格 |
|-------------------------|----|------------------|
| 基準点測量、写真測量 地図調製、地理調査 | A | 地理情報標準認定資格 上級技術者 |
| | B | 地理情報標準認定資格 中級技術者 |
| | C | 地理情報標準認定資格 初級技術者 |

◎国土地理院の参照サイト：

- ・「測量業務の品質確保」

<https://www.gsi.go.jp/gijyutukanri/gijyutukanri40008.html>

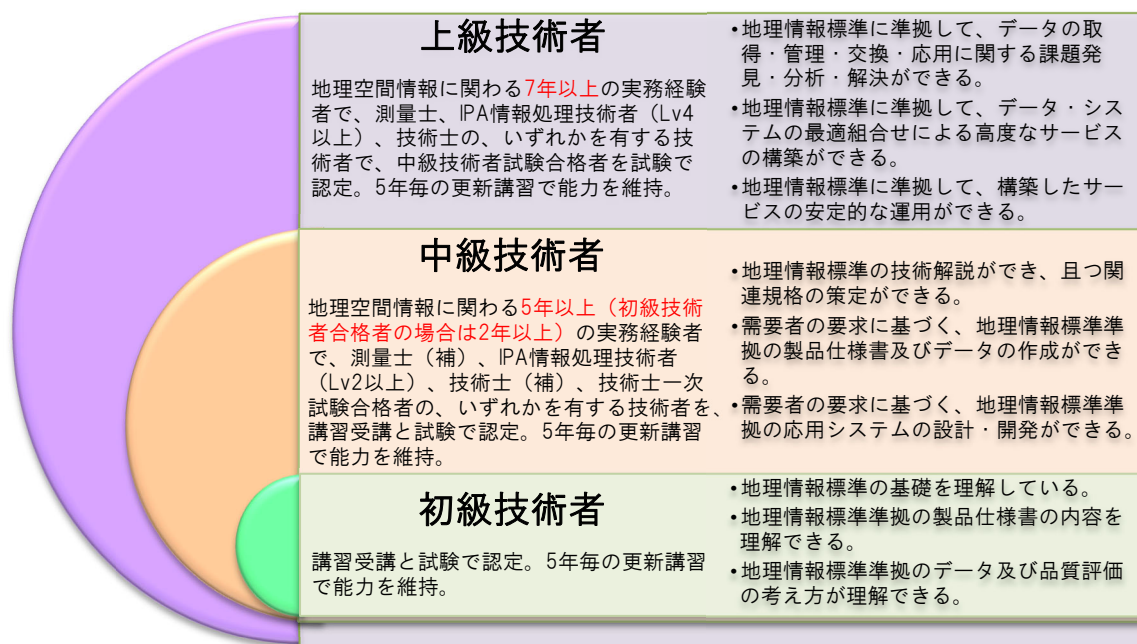
- ・「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格登録一覧」

<https://www.gsi.go.jp/common/000111347.pdf>

【制度の概要】

地理情報標準（ISO19100 シリーズ、JIS X 7100 シリーズ及び JPGIS）に関する知識・技能についての講習、及びそれらが一定水準以上であることを試験により認定し、地理情報システムを構築・運用する「技術者」から地理情報システムを利用する「エンドユーザ（利用者）」まで、地理情報システムに関係するすべての人が活用できる資格制度です。

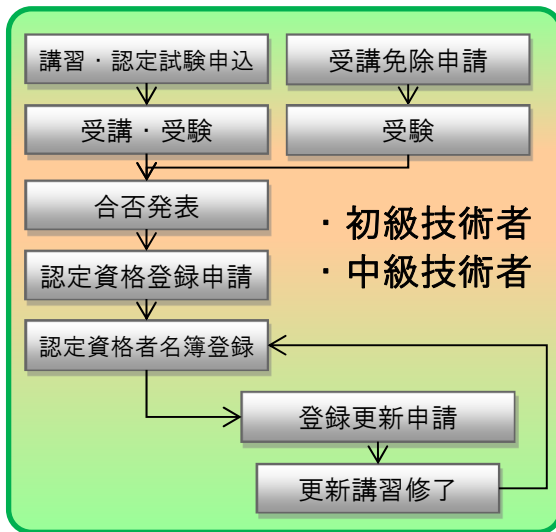
認定資格は、初級技術者、中級技術者、及び上級技術者に区分されています。各区分の認定要件と知識・技能の水準の範囲を下図に示します。



特定の製品やソフトウェアに関するものでなく、地理情報標準の背景として知るべき幅広い知識や基礎となる技能について、総合的に評価します。

2. 資格取得の概要

【資格取得・更新フロー】



■初級技術者日程

【4月4日～5月21日】測技協 HP より申込
 受講免除申請対象：過去初級受験者、測技協・全測連有料セミナー・SIDS（初級編、又は中級編）・国土交通大学校の関連研修受講者

【6月3日～7月9日】3時間以上eラーニング講習

【7月11日～7月21日】1時間 CBT 試験

【8月上旬】合否結果通知

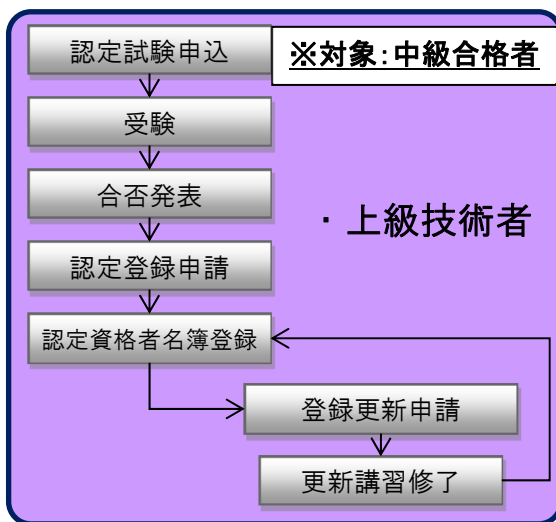
■中級技術者日程

【7月8日～8月21日】測技協 HP より申込
 受講免除申請対象：過去中級受験者、SIDS（中級編）・国土交通大学校の関連研修受講者

【9月2日～10月16日】6時間以上WEB講習

【10月24日～10月25日】全国2会場（東京・大阪）
 2日間講習と2時間試験（講習最終日）

【12月上旬】合否結果通知



■上級技術者日程

【3月3日～4月23日】測技協 HP より申込

【5月25日】全国1会場（東京）3時間試験

【7月上旬】合否結果通知

■全級共通：登録・更新

登録料を添えて認定資格者名簿登録申請

測技協備付の登録者名簿に記載

5年毎に登録更新料を添えて登録更新申請

インターネット講習修了

【講習・認定試験の申込】

■申込要領の確認

地理情報標準認定資格 Web サイトから申込要領をダウンロードし、要領に従って試験の申込手続きを行ってください。

■認定試験申込み

地理情報標準認定資格 Web サイトから講習・試験の申込手続きに進みます。

必要事項を申込フォームに入力し、受験者情報の登録を行います。入力中でも、受付の締切時刻を過ぎると申込みができませんので、ご注意ください。

登録が完了すると、申込資料のメールが送信されます。申込要領の記載例に従って、締切までに申込書をPDFでメール送信（または郵送）し、受講・受験料等の振込を行って申込手続きを完了してください。

3. 認定試験受験資格及び講習受講免除

【認定試験受験資格】

認定試験受験資格は、下表の各区分で指定される実務経験年数と資格要件によります。

| 区分 | 実務経験年数 | 資格要件** | 証明に必要な書類 |
|-------|--|---|---|
| 初級技術者 | 制限なし | 制限なし | 制限なし。ただし、 <u>学生は学生証の写し（カラーコピー）</u> 、又は <u>在学証明書</u> |
| 中級技術者 | 2年*1 [初級技術者認定試験合格者] または 5年*1 (いずれの場合も修士、博士期間を含む*2) | 実務経験年数に応じて、次の1. 2. のいずれか、もしくは双方の要件を満たす者 | ・実務経験年数が <u>2年以上 5年未満</u> の場合、次1. 2. の書類を <u>両方準備</u> すること ・実務経験年数が <u>5年以上</u> の場合、次の2. の書類を準備すること |
| | | 1. 初級技術者認定試験合格者 2. 測量士（補）、情報処理技術者*3、技術士（補）*4、技術士一次試験合格者*4のいずれか | 1. 初級技術者登録証書の写し、又は合格証書の写し 2. 測量士（補）登録証の写し、又は測量士（補）登録証明書の写し*5、若しくは、情報処理技術者試験合格証書の写し、又は技術士一次試験合格証の写し、同二次試験合格証の写し、技術士（補）登録証明書、技術士（補）登録証の写し |
| 上級技術者 | 7年*1 (修士、博士期間を含む*2) | 次の1. 2. の要件双方を満たす者 1. 中級技術者認定試験合格者 2. 測量士、情報処理技術者*3、技術士*4、技術士二次試験合格者*4のいずれか | 次の1. 2. の書類を <u>両方準備</u> すること 1. 中級技術者登録証書の写し、又は合格証書の写し 2. 測量士登録証の写し、又は測量士登録証明書の写し*5、若しくは、情報処理技術者試験合格証書の写し、又は技術士二次試験合格証の写し、技術士登録証明書、技術士登録証の写し |

** 初級・中級技術者の受験には、それぞれの講習を受講いただくことが必要となります。

(講習受講免除の場合を除く)

** 過去に受講・受験をしたことのある同じ級の受講・受験を申し込む場合は、過去の受講・受験を証明するものの写しをもって、業務経歴書及び証明書等の提出にかえることが可能です。

*1 指定の様式で地理空間情報に関する業務経歴書の提出が必要です。

*2 修士・博士は在学期間2年を上限として算入可能です。修了証書等の写しが必要です。

*3 IPA 情報処理技術者試験の「基本的知識・技能」に該当するレベル2以上（中級）、「高度な知識・技術」に該当するレベル4（上級）になります。

*4 技術部門は問いません。

*5 測量士及び測量士(補)の試験合格通知、試験合格証書、登録通知書、名簿記載事項証明書の写しでも可とします。

【講習受講免除の申請】

下表のとおり指定された講習のいずれかの受講により、受験資格となっている講習の受講を免除します。

なお、類似の講習であっても、一定期間が経過し、講習内容が現在の規格に対応していないものについては、同等性の観点から指定講習となっていないこともあることを予めご承知おきください。

| 区分 | 指定講習（各区分のいずれかを満たす者） | 申請に必要な書類 |
|-------|---|------------------------------|
| 初級技術者 | 当資格の初級技術者講習 | 過年度の受講証明書の写し 又は受講修了証明書等*1 |
| | 当協会及び全国測量設計業協会連合会の有料の地理情報標準の研修会 | 修了証等の写し |
| | 日本測量協会地理空間情報専門技術認定*2 | 合格証の写し |
| | 空間情報デザインスクール (SIDS 初級編・または SIDS 中級編) | 修了証の写し*1 |
| | 国土交通大学校の関連研修*2 | 修了証の写し |
| 中級技術者 | 当資格の中級技術者講習 | 過年度の受講証明書の写し 又は受講修了証明書等*1 |
| | 当協会及び全国測量設計業協会連合会の有料の地理情報標準の研修会 | 修了証等の写し |
| | 日本測量協会地理空間情報専門技術認定*2 | 合格証の写し |
| | 空間情報デザインスクール (SIDS 中級編) | 修了証の写し*1 |
| | 国土交通大学校の関連研修*2 | 修了証の写し |
| 上級技術者 | なし | なし |

* 指定の様式に当該書類を添付することで、受講免除の申請とみなします。

* 登録更新についての講習は受講免除となりません。

*1 公益財団法人 日本測量調査技術協会が発行する証明書及びその写しです。なお、過年度の試験結果通知の写しを含みます。

*2 別表1に対象となる研修コースを示します。

修了証等を紛失している場合は、各々の講習実施機関に再発行等を依頼してください。当協会では、原則として書類のご提出が無い場合には受講の確認をすることは出来ません。予めご承知おきください。

【ご注意】受講証明書の紛失等は十分ご注意ください。

当資格の初級技術者講習及び中級技術者講習の受講証明書を紛失等した場合は、有料で受講修了証明書を発行します。詳細は、『5. 認定資格の登録』の【受講証明書・合格証書・登録証書の再発行】を参照してください。

講習免除の対象となるか不明な場合は、認定資格係宛に、件名を【講習免除確認】とし、講習実施機関名、講習正式名、受講年月日（期間）を記してメールでお問い合わせください。

〈別表1〉 講習受講免除の対象研修一覧

公益社団法人 日本測量協会 地理空間情報専門技術認定

| 専攻領域 | 認定課目（級別） | 備考 |
|------|----------|--------------------------------------|
| 地理情報 | GIS（2級） | 認定登録者、又は全科目の合格者 |
| | GIS（1級） | 認定登録者、又はⅡコース（3. 標準化、及び4. 製品仕様）の科目合格者 |

国土交通大学校

| 年度 | 研修名 |
|--------|----------------------------|
| 平成17年度 | 専門課程 地理情報標準研修 |
| 平成18年度 | 専門課程 地理情報標準研修 |
| 平成19年度 | 専門課程 高等測量研修 |
| 平成20年度 | 専門課程 地理情報標準研修 |
| | 専門課程 公共測量企画 |
| | 専門課程 高等測量研修 |
| 平成21年度 | 専門課程 地理情報標準研修 |
| | 専門課程 公共測量企画 |
| | 専門課程 先端測量科学技術(地理空間情報)研修 |
| | 専門課程 高等測量研修 |
| 平成22年度 | 専門課程 公共測量研修(全期間コース) |
| | 専門課程 公共測量研修(地理情報標準特化コース) |
| | 専門課程 高等測量研修 |
| 平成23年度 | 専門課程 公共測量研修 A日程(公共測量実務コース) |
| | 専門課程 公共測量研修 C日程(地理情報標準コース) |
| | 専門課程 公共測量研修 D日程(指導・助言コース) |
| | 専門課程 高等測量研修 |
| 平成24年度 | 専門課程 公共測量研修(中級コース) |
| | 専門課程 高等測量研修 |

| | |
|---------------|------------------------|
| 平成 25 年度 ～ | 専門課程 公共測量研修(中級コース) |
| | 専門課程 高等測量研修 |
| 平成 27 年度 | 専門課程 GIS 中級 |
| 平成 28 年度 | 専門課程 公共測量の設計積算 |
| | 専門課程 高等測量研修 |
| | 専門課程 GIS 中級(業務への活用支援) |
| 平成 29 年度 ～ | 専門課程 公共測量の設計積算 |
| | 専門課程 高等測量研修 |
| 令和 4 年度 | 専門課程 GIS 応用(問題解決能力の向上) |
| 令和 5 年度 ～ | 専門課程 公共測量研修 |
| | 専門課程 高等測量研修 |
| 令和 6 年度 | 専門課程 GIS 応用(問題解決能力の向上) |

【書類審査】

受講・受験資格を確認する書類審査を行います。受講・受験、及び受講免除の要件を満たさない場合は、通知の上、既にお支払いいただいた受講・受験料を返金します。なお、受講免除の要件のみを満たさない場合は、差額の受講料をお支払いいただくことにより受講・受験が可能となります。

* 各会場の定員に達し次第、受付を締切らせていただきます。

4. 講習カリキュラム及び認定試験の構成

【講習カリキュラム及び認定試験の構成】

各区分の講習カリキュラム及び認定試験の構成は下表のとおりです。

| 初級技術者 | | |
|--------------|---|---|
| 想定する受講者レベル | ● 地理情報標準を初めて勉強する方を対象としています。 | |
| 知識・技能のレベル | <ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準の基礎を理解している。 ● 製品仕様書が要求する地理空間データを想定できる。 ● 地理空間データの品質の考え方を理解している。 ● メタデータの意義を理解し、作成できる。 ● 単純な構造の地理空間データ製品仕様書を理解できる。 | |
| 講習期間 | 2025年6月2日(月)～7月9日(水) | |
| カリキュラム | <ul style="list-style-type: none"> ● 3時間以上(eラーニング) ● 地理情報標準の概要、作成すべきデータ(応用スキーマ)、品質の考え方及び評価方法、メタデータ及びその作成方法、製品仕様書 | |
| 試験期間 | 2025年7月11日(金)～7月21日(月) | |
| 試験科目 【基礎】 | 試験形式 | 多肢択一式問題・30問出題 (CBT) |
| | 試験内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準の基礎に関する知識 ● 作成すべきデータに関する知識 ● 品質評価に関する知識 ● メタデータに関する知識 ● 製品仕様書に関する知識 |
| 試験時間 | CBTテストセンターの予約日時(60分) | |
| 採点方法 | 試験合格基準以上の成績を得ていることで合格とします。 | |

| 中級技術者 | | |
|------------|---|--|
| 想定する受講者レベル | ● 各科目についての基本的な知識を有していることを前提に講習を行います。 | |
| 知識・技能のレベル | <ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準の内容をよく理解している。 ● 複雑な構造の地理空間データを設計できる。 ● 複雑な構造の製品仕様書を作成できる。 ● 製品仕様書が要求する地理空間データを作成できる。 ● 与えられた論議領域を基に正しい製品仕様書を書くことができる。 ● 符号化規則(GML)に従って地理空間データを記述できる。 | |
| 講習 | WEB講習実施後に集合型による対面講習を行います。 | |

| | | |
|-------------------|--|---|
| | カリキュラムの一部はWEB講習（eラーニング）で実施します。 対面講習はWEB講習を修了した受講者を対象とします。 試験受験は、全科目の講習修了が必須要件となります。 | |
| WEB講習期間 | 2025年9月2日（火）～10月16日（木） | |
| カリキュラム 【1.5ヶ月】 | <ul style="list-style-type: none"> ● 6時間以上（eラーニング） ● 一般地物モデルと応用スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ、品質要求、被覆、地理識別子、符号化(XML/GML) | |
| 対面講習日程 | 2025年10月24日（金）～10月25日（土） | |
| カリキュラム 【2日間】 | <ul style="list-style-type: none"> ● 1日目 ガイダンス・講習7時間程度 ● 演習・講義：UMLクラス図・応用スキーマ演習 WEB講習の復習：一般地物モデルと応用スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ、品質要求 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 2日目 講習3時間程度 ● 演習・講義：製品仕様書 WEB講習の復習：被覆、地理識別子、符号化(XML/GML) | |
| 試験日 | 2025年10月25日（土）※対面講習2日目同日 | |
| 試験科目 【応用1】 | 試験形式 | 多肢択一式問題・20問出題 |
| | 試験内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● 一般地物モデルと応用スキーマ ● 空間スキーマ ● 時間スキーマ ● 品質要求 ● 被覆 ● 地理識別子 ● XML ● GML |
| 試験科目 【応用2】 | 試験形式 | 記述式（記述及び作図）問題・3問出題 |
| | 試験内容 | ● 製品仕様書 |
| 試験時間 | 14時00分～16時00分（120分） 試験は【応用1】と【応用2】を併せて実施し、合計120分とします。 | |
| 採点方法 | <p>【応用1】と【応用2】が、共に試験合格基準以上の成績を得ていることで合格とします。</p> <p>【応用1】で資格認定委員会が定める試験合格基準以上の成績を得ていることで、【応用2】の採点対象となります。</p> <p>【応用2】の試験合格基準は、「与えられた論議領域を基に正しい『製品仕様書』を書くことができる能力があること」です。</p> | |

| 上級技術者 | | |
|----------------|--|--|
| 知識・技能 のレベル | <ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準に準拠して、データの取得・管理・交換・応用に関する課題を発見し、それらを分析・解決できる。 ● 地理情報標準に準拠して、データ・システムの最適な組合せを選択し、高度なサービスを構築できる。 ● 地理情報標準に準拠して、構築したサービスを安定的に管理し、運用できる。 | |
| 試験日 | 2025年5月25日(日) | |
| 試験科目 【高度実践】 | 試験形式 | 論述式(小論文)問題・3問出題・内2問解答 600字詰原稿用紙6枚 |
| | 試験内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地理情報標準に準拠したデータの取得・管理・交換・応用に関する課題発見・分析・解決についての実務経験に関する論述 ● 指定された条件で、地理情報標準に準拠したデータ・システムの最適組合せによる高度なサービスの構築に関する論述 ● 指定された条件で、地理情報標準に準拠した構築したサービスの安定的な管理・運用に関する論述 |
| | 試験時間 | 13時30分～16時30分(180分) |

【受講・受験に際して特別処置を希望する方】

受講・受験に際して配慮を希望する場合、受講・受験席の要望がある場合は、予め認定資格係までご相談ください。

5. 認定資格の登録

【資格登録】

資格認定委員会が定める試験合格基準以上の成績を得て、認定審査に合格した受験者に合格証書を交付します。認定試験の合格のみでは認定技術者資格は付与されません。

登録の申込みは試験実施年度の5年後の年度の1月31日まで行うことが可能です。登録した資格は合格した年度から5年目の年度末まで有効です。

【認定資格登録証書】

合格し合格証書を受領された受験者は、地理情報標準認定資格者名簿への登録申請を行うことができます。これによって、地理情報標準認定資格（初級技術者、中級技術者、上級技術者）は正式に付与され、登録証書が発行されます。なお、発行には1カ月程度を要します。

【認定資格者名簿の公表】

地理情報標準認定資格者名簿のうち、登録証書に記載される登録者の氏名、登録区分（級）、登録番号、登録年月日、有効期限の各項目は、情報公開の対象となります。

【受講証明書・合格証書・登録証書の再発行】

受講証明書、合格証書、登録証書の再発行は行いません。

- ・受講証明書：有料で受講修了証明書を発行いたします。
- ・合格証書：有料で合格証明書を発行いたします。
- ・登録証書：有料で登録証明書を発行いたします。

受講証明書・合格証書・登録証書を紛失等した場合は、有料で各証明書の発行をします。詳細は、認定資格係宛に、件名を【〇〇証明書発行依頼】とし、メールでお問い合わせをお願いします。

* 領収書発行につきましては、『6. 講習受講料・認定試験受験料・認定資格登録料』【領収書の発行】に記載の手続き方法をご確認ください。

6. 講習受講料・認定試験受験料・認定資格登録料

【講習受講料・認定試験受験料・認定資格登録料】

各区分の講習受講料・認定試験受験料、及び認定資格登録料は下表のとおりです。講習受講免除の場合以外は、原則として、講習と試験の両方を受けていただきます。

| 区分 | 講習受講料 | | 認定試験受験料 |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------------|--|
| 初級技術者 | 初回 | 税込 16,500 円 (10%消費税 1,500 円) | 初回・再受験者 税込 7,700 円 (10%消費税 700 円) |
| | 再受講 | 税込 13,200 円 (10%消費税 1,200 円) | |
| | 学生 | 税込 1,100 円 (10%消費税 100 円) | 税込 5,500 円 (10%消費税 500 円) |
| 中級技術者 | 初回 | 税込 55,000 円 (10%消費税 5,000 円) | 初回・再受験者 税込 11,000 円 (10%消費税 1,000 円) |
| | 再受講 | 税込 33,000 円 (10%消費税 3,000 円) | |
| 上級技術者 | (講習の実施なし) | | 税込 33,000 円 (10%消費税 3,000 円) |
| 以下、全級対象 | 登録料 | | 登録更新料 |
| 合格後の登録・更新 (証明書交付手数料含む) | 税込 6,600 円 10%消費税 600 円 | | 税込 11,000 円 10%消費税 1,000 円 |
| 証明書の交付手数料 (再発行手数料) | 税込 2,200 円 10%消費税 200 円 | | |

- * 本人の都合によりキャンセルされた場合の受講・受験料は、原則、返金しません。
- * 納入いただいた受講・受験料の次回以降の受講・受験への振替、及び他者分への充当は原則として認めません。
- * 再受講者割引は、過去の受講修了を証明できるものの写しが必要です。
- * 初級技術者の学生割引は、学生証又は在学証明書のコピーが必要です。
- * 初級技術者の講習受講料は、配布するテキスト代を含みます。
- * 中級技術者の講習受講料は、テキスト等の教材費用を含みます。

【再受講者割引の対象と適用】

過去に受講したことがある同じ級の講習を受講する方は、講習受講料について再受講者割引の対象となります。再受講者割引を適用する場合は、過去の受講証明書または受講終了修了証明書（いずれも写し）を添付してください。

【学生割引の対象と適用】

初級技術者については、小学校・中学校・高校・高等専門学校・専修（専門）学校・短期大学・大学・大学院・各種学校等の学校に在学中の方は、学生割引の対象となります。

学生割引を適用する場合は、必ず学生証の写し（カラーコピー）又は在学証明書を添付してください。添付が無い場合、適用することができません。

【受講料及び受験料の納入例】

初級講習・試験の場合

- ・ 受講・受験者 : 16,500 円+7,700 円= 24,200 円（税込）
- ・ 再受講・受験者割引適用 : 13,200 円+7,700 円= 20,900 円（税込）
- ・ 受講・受験者（学生割引） : 1,100 円+5,500 円= 6,600 円（税込）
- ・ 受講免除対象者 : 7,700 円（税込）
- ・ 受講免除対象者（学生割引） : 5,500 円（税込）

【振込先】

銀行・支店・口座番号：みずほ銀行 高田馬場支店 普通 2865889

口座名カナ：ザイ)ニホンソクリョウチヨウサギジュツキョウカイ コウシュウ シケングチ

口座名漢字：公益財団法人日本測量調査技術協会 講習・試験口

- * 在職する企業等からの一括納入やネットバンキングでの納入の場合は、事前に認定資格係へご連絡ください。
- * 振込手数料は、振込者負担とします。

【領収書の発行】

受講・受験料の領収証：全ての方へ試験結果通知に同封して発行します。

- ・ 未受験となった場合は pdf のメール添付でお送りします。

登録料・登録更新料の領収証：全ての方へ登録証書に同封して発行します。

公益財団法人日本測量調査技術協会 登録番号：T4011105005417

お急ぎの場合：認定資格係宛てに、件名を「領収証希望」として、メール本文に以下を記載してください。発行にはお時間を頂きます（一週間程度）

受講受験番号/お振込み年月日/受講受験者名/領収書の宛名

7. 認定資格の登録更新

更新対象となる資格の有効期限及び更新対象に関する詳細は、サイト内の「[更新講習のご案内](#)」をご覧ください（案内は10月初旬に更新します）。

【手続き手順】

1. 更新講習の申込

該当者には、認定資格係より登録更新のご案内メールをお送りします。

案内に従い、更新講習の受付期間内に申込手続きを行ってください。

ご案内メールは、「認定試験の申込時に登録頂いたメールアドレス」に送信するため、ご案内メールを確実に受信できるよう、メールアドレスに変更があった場合は、登録事項変更手続きをお願いいたします。

変更手続きは、サイト内の「登録事項変更手続き」に掲載しています。

2. メール送信と振込

申込手続き後、申込書（PDF）をメール送信し、登録更新料をお振込みください。申込書のPDFがメール送信できない場合は、郵送してください。

3. 更新講習

申込書の受理と登録更新料の納付の確認が出来ましたら、「登録更新講習（eラーニング）のご案内」をお送りします。

修了しましたら、受講証明書（測量及び設計CPDポイントを証明）及び更新後の登録証書の発行と郵送をします。発行には1カ月程度を要します。

【更新講習】

認定資格登録後の資質向上のため、5年毎の受講により資格継続とします。

| 区分 | 講習方法 |
|-------|--------------------------|
| 初級技術者 | WEB講習（eラーニング）（約20問＋解説付き） |
| 中級技術者 | WEB講習（eラーニング）（約20問＋解説付き） |
| 上級技術者 | WEB講習（eラーニング）（約20問＋解説付き） |

【登録更新】

- * 登録更新料には、更新講習の受講料を含みます。
- * 登録更新の申込み及び登録更新料の納入をもって更新講習の受講が可能となります。
- * 本人の都合によりキャンセルされた場合の登録更新料は、原則として返金しません。
- * 納入いただいた登録更新料の次回以降への振替、及び他者分への充当は原則として認めません。

8. 測量 CPD と設計 CPD

CPD とは、継続的な能力開発 (Continuing Professional Development) のことで、技術者が、自己の資質の技術の向上に努め、常に技術者としての誇りと品格を保ち、社会に貢献するために、自己研鑽 (継続的学習) を通じて必要な技術力と資質の向上を図ることを目的としています。

初級技術者講習、中級技術者講習、登録更新講習、及び地理情報標準認定試験合格者による地理情報標準認定資格者名簿への登録により、測量 CPD、または測量及び設計 CPD ポイントの証明書を発行します。発行には 1 カ月程度を要します。

1. 講習

①対象：測量 CPD ・ 設計 CPD

②ポイント数

| 名称 | 測量 CPD | 設計 CPD |
|----|--------|--------|
| 初級 | 4 | 4 |
| 中級 | 16 | 16 |

③注意事項：対面講習を遅刻、途中退出等した場合は、ポイント数が減る場合や発行しない場合があります。

2. 認定資格登録

①対象：測量 CPD

②ポイント数

| 名称 | 測量 CPD |
|----|--------|
| 初級 | 2 |
| 中級 | 4 |
| 上級 | 6 |

③注意事項：資格登録者に対して発行します。合格のみでは発行ができません。

3. 登録更新講習

①対象：測量 CPD ・ 設計 CPD

②ポイント数

| 名称 | 測量 CPD | 設計 CPD |
|----|--------|--------|
| 初級 | 2 | 2 |
| 中級 | 3 | 3 |
| 上級 | 3 | 3 |

詳細は「測技協の継続教育（CPD）について」をご確認ください。

<https://sokugikyo.or.jp/cpd/>

具体的な CPD 参加・認定ポイント登録、学習履歴証明等の各種手続きは各 CPD 協議会へお願いいたします。

測量系 CPD 協議会ホームページ <https://www.jsurvey-cpd.jp/>

設計 CPD（全国測量設計業協会連合会）ホームページ <https://www.zensokuren.or.jp/cpd/>

9. 詳細についての問い合わせ先

公益財団法人 日本測量調査技術協会 認定資格係

住所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-40-11 看山ビル 6 階

電話：03-3362-6840

FAX：03-3362-6841

URL：<https://sokugikyo.or.jp/contact/>

電子メール：s-gi-cert@sokugikyo.or.jp

申込書・確認書類等の証明書類については返却いたしません。また、いただいた個人情報は、本認定資格制度の運営を目的として利用し、当該情報は、当協会の個人情報保護方針に基づき厳重に管理します。

プライバシーポリシー <https://sokugikyo.or.jp/privacy-policy/>

以上

本案内は予告であり、修正される場合があります。予めご了承ください。

10. 参考図書・Web サイト

〈別表 2〉

参考図書・Web サイト

| 図書名、又は Web サイト | 著者・编者等 | 発行元 | 発行年 | 備考 | 対象 クラス |
|--|---|-------------------------------|-----------|----|-----------|
| 2024 年 地理情報標準 認定資格制度初級技術者講 習テキスト | (公財)日本測量 調査技術協会 講習・試験委員 会 編 | (公財)日 本測量 調査技 術協会 | 2024 ～ | | 初級 |
| 新訂 JPGIS 入門 - JPGIS 2014 対応 - | (公財)日本測量 調査技術協会 GIS センター | (公財)日 本測量 調査技 術協会 | 2024 | | 初級・ 中級 |
| 読んでナットク JSGI | 地理情報標準普 及利用推進委員 会・国土地理院 監修 (国土地理院技術 資料 E1-No.294) | (公財)日 本測量 調査技 術協会 | 2004 | | 初級 |
| 地理情報標準第 2 版 (JSGI2.0) の入門 | (公財)日本測量 調査技術協会 (国土地理院技術 資料 A1-No.261) | (公財)日 本測量 調査技 術協会 | 2002 | | 初級 |
| GIS の理論 | 村山祐司、 柴崎亮介 | 朝倉 書店 | 2008 | | 初級 |
| GIS のためのモデリング入 門 地理空間データの設計 と応用 | 有川正俊・ 太田守重 | ソフト バンク クリエ イティ ブ | 2007 | | 初級・ 中級 |
| 地理空間情報の基本と活用 | 橋本雄一 編 | 古今 書院 | 2009 | | 中級 |
| GIS 原典 1 地理情報システ ムの原理と応用 | マギーほか編・ 碓井照子ほか訳 | 古今 書院 | 1998 | | 中級 |

| 図書名、又は Web サイト | 著者・编者等 | 発行元 | 発行年 | 備考 | 対象 クラス |
|--|---|------------------------|------|--|------------------|
| 地理情報標準プロファイル Japan Profile for Geographic Information Standards (JPGIS) 2014 https://www.gsi.go.jp/com mon/000250810.pdf | 国土交通省 国土地理院 | 国土交 通省 国土地 理院 | 2019 | | 中級 |
| 地理情報に関する国際標準 の概要「Standards Guide ISO/TC 211 Geographic information/Geomatics」仮 訳 https://www.gsi.go.jp/com mon/000077857.pdf | 国土交通省 国土地理院 (国土地理院技術 資料 A1-No.357) | 国土交 通省 国土地 理院 | 2010 | | 中級 |
| 地理空間データ製品仕様書 作成マニュアル https://www.gsi.go.jp/com mon/000259952.pdf | 国土交通省国土 地理院 | | 2020 | | 中級・ 上級 |
| JIS 規格サイト https://www.jisc.go.jp/ | JISC (日本工業 標準調査会) | | 2014 | | 中級・ 上級 |
| 地理情報規格 ISO/TC211・ JIS (地理情報規格に関する作 業項目を紹介) https://sokugikyo.or.jp/isoji s/ | (公財)日本測量 調査技術協会 | | 2014 | | 中級・ 上級 |
| 地理空間情報技術 (GIT) の 学習支援ソフトウェア gittok https://github.com/stinfode sign/gittok (必ずしも地理情報標準に準 拠するものではないが、地理 情報規格の体系やその役割の 理解も可能とするソフトウェ ア。) | 太田守重 | | 2014 | 『国土地理 院電子国土 賞 (PC 部 門)』受 賞、『GIS 学会賞 (ソ フトウェ ア・デー タ部門)』受 賞 | 初級・ 中級・ 上級 |

*参考図書の詳細は、発行元へ直接お問い合わせください。